

平成 29 年度 第 9 回とやま建設フォトコンテスト

総 評

県民の生活に深いかかわりをもつ建設業の重要性・地域との繋がりや現場で働く人々の姿を捉え建設業の魅力を伝える当コンテストは、今回で9回目を迎えました。

応募者は15歳から82歳までの幅広い世代に渡って142点の応募を頂きました。

入賞作品は、当コンテストのテーマ性を理解され表現されたものに作者の思いも想像して選ばれた質の高いものとなったのではないかと思います。

審査委員長 堀田信一
(富山県写真連盟委員長)

第9回とやま建設フォトコンテスト概要

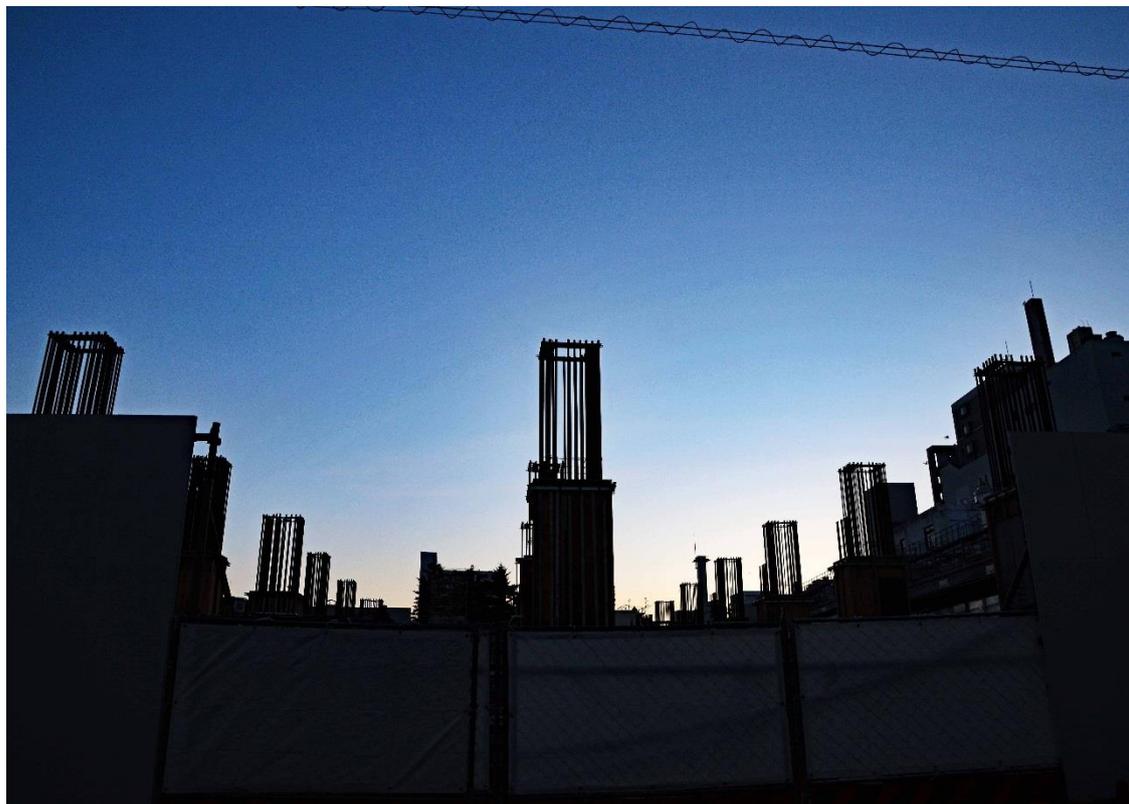
募集時期 平成29年9月～平成30年1月
主 催 (一社)富山県建設業協会
後 援 富山県、富山県建設産業団体連合会、
東日本建設業保証(株)富山支店
応募点数 142点
入賞作品 8作品

募集部門

- 働く人部門……建設業で働く人々が、いきいきと誇りを持って物づくりに携わる姿等をとらえた作品
- 物づくり部門…建造物や建設機械などを対象に、建設産業のスケールの大きさや重要性等をとらえた作品。
- 絆部門……除雪活動や防災対策など、建設業と地域のつながり、人々の安心安全を守るために担っている役割・活動をとらえた作品

特 選

【夜明けのオブジェ】北島正之（撮影場所:富山市）



元西武デパート跡の再開発ビル、まだ建設段階ですが、一つのビルでありながら幾つものビルが林立していくように感じさせます。また、建物の上空を空けたことで、このビル群がまだ上に伸びて超高層ビルになるような夢を抱かせます。そこには街の未来の発展を約束させるようです。作者の思いとは違ったかもしれませんが、見る人にそう思わせる何かがあります。またこの作品は、日の出近くに撮ったことで、朝の凛とした空気感を漂わせた空の深みのある青の色彩が魅力的です。

働く人部門賞

【ツクルヨロコビ】松平純子

（撮影場所：南砺市）

何とも言えない清々しい風貌です。働く喜びが身体全体から漂ってきます。顔の皺に仕事に対する情熱と自信が伺えます。

それにしても良い笑顔です。



物づくり部門賞

【利賀ダムに通じるアーチ】加藤福蔵

（撮影場所：南砺市）

ダムに懸かる工事中の真っ直ぐな橋、その下の丸く赤いパイプの形と色の対比が目を引きます。

また橋の上の2台のクレーン車に対して作業員が小さく見えることで現場のスケール感がうまく表現されています。

絆部門賞

【あ！目盛り見えた！】牛島ルリ子

（撮影場所：富山市）

現場見学会とのこと。工事現場で真剣にレベルを覗いている子どもの表情が印象的です。

また側で優しく見守っている関係者の方と、一緒に来た子どもさんの笑顔も良いです。

将来は建設関係の仕事に就いてね。



佳作**【仕事人】 牧田美羽****（撮影場所：富山市）**

作業している作業員の方の仕事にける一生懸命な表情、熱意と真剣さが伝わります。

現場で働く男性の熟練した仕事ぶりが感じられる作品です。

**佳作****【合掌造りを守る】 水野敬雄****（撮影場所：南砺市）**

満開の桜と新緑の木々が美しく清々しい雰囲気の中で作業する作業員を捉えました。世界遺産の合掌造りは後世に伝えていく責任があります。

その重みを感じながら作業をしている作業員の方の思いが伝わる作品です。

**佳作****【突貫工事】 杉山邦雄****（撮影場所：小矢部市）**

リズムカルに並んだ高所作業車上で多くの作業員の方々が電線を張っています。

青い空、白い雲、ほかにも黄色、赤地に白の矢印と色彩も豊かですが、ライフラインを守る作業員の方々の一生懸命さが伝わってきます。

**佳作****【安心、安全、世界遺産観光】 河合寛****（撮影場所：南砺市）**

数年に一度とか56豪雪以来とか言われた今冬の大雪に、県民の多くの人々の足が奪われました。

これ程の大雪であったにも関わらず、車道や歩道がしっかり除雪されたことで多くの県民が救われました。建設業に従事されている方々の苦勞が偲べれます。

